

2021 年度 日本歯科保存学会学会賞・同学術賞・同奨励賞選考経過および結果

日本歯科保存学会学会賞・同学術賞・同奨励賞選考委員会（以下、選考委員会）は、2021 年 2 月 17 日、Zoom において開催された。

学会賞には被推薦者 3 名、学術賞の応募者は 2 名、奨励賞の応募者は 9 名であった。以下に選考経過を報告する。

学会賞、学術賞、奨励賞については日本歯科保存学会表彰制度規程、同細則に示された審査対象、資格、選考基準に従って、被推薦者および応募者が選考対象となるかについて資格審査を行った。

学会賞の選考については、細則に示されている選考基準に基づいて、選考対象者 3 名および推薦者である本学会理事より提出された、推薦申請書等について慎重に審議した結果、選考対象者が日本歯科保存学会学会賞を受賞する資格があるものと判定した。

以下に受賞者を示す。

荒木 孝二（理事）

所属：東京医科歯科大学統合教育機構・教授

田上 順次（理事長）

所属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科・教授

廣藤 卓雄（理事）

所属：福岡歯科大学・教授

学術賞の選考については、日本歯科保存学会表彰制度規程に基づいて、選考対象者 2 名の研究業績が評価された。資格審査の後、一連の研究成果および学術領域への貢献度に関して各選考委員による採点が行われ、さらに総合的な討論を経て、以下の 2 名を学術賞受賞候補者として選考した。

竹中 彰治 所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野

Sulfated vizantin causes detachment of biofilms composed mainly of the genus Streptococcus without affecting bacterial growth and viability

Taisuke Hasegawa, Shoji Takenaka, Masataka Oda, Hisanori Domon, Takumi Hiyoshi, Karin Sasagawa, Tatsuya Ohsumi, Naoki Hayashi, Yasuko Okamoto, Hirofumi Yamamoto, Hayato Ohshima, Yutaka Terao & Yuichiro Noiri

BMC Microbiology 20 : 361 (2020 年発表)

他 4 編

水谷 幸嗣 所属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野

Poor oral hygiene and dental caries predict high mortality rate in hemodialysis : a 3-year cohort study

Koji Mizutani, Risako Mikami, Tomohito Gohda, Hiromichi Gotoh, Norio Aoyama, Takanori Matsuura, Daisuke Kido, Kohei Takeda, Yuichi Izumi, Yoshiyuki Sasaki & Takanori Iwata
Scientific Reports, 10 (1), 21872 (2020 年発表)

他 4 編

奨励賞の選考にあたっては、選考委員会が定めた以下の選考項目に従って対象論文に対する総合的な審議を行った後、各選考委員の採点を集計し、選考した。

- 1) 独創性：課題の着想，研究方法の選択，結果の解釈などに独自の見解が認められるか。
- 2) 論理性：実験の展開，結果の考察，結論の導き方などに妥当性が認められるか。
- 3) 発展性：研究の将来性，さらなる成果が期待できるか。
- 4) 貢献性：保存学領域の研究，教育，臨床への波及効果は大きいか。

その結果，以下の候補者および応募論文を日本歯科保存学会奨励賞として選考した（50音順，①：論文題目，②：研究発表）。

- 枝並 直樹 所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野
- ①Impact of remnant healthy pulp and apical tissue on outcomes after simulated regenerative endodontic procedure in rat molars
Scientific reports 2020 ; 10 : 20967
 - ②なぜ Regenerative endodontic procedures は多様な治癒形態を生じさせるのか
—ラット根未完成臼歯における免疫組織学的研究—
(2019 年度秋季学術大会発表)
- 駒津 匡二 所属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野
- ①Discriminating microbial community structure between peri-implantitis and periodontitis with integrated metagenomic, metatranscriptomic, and network analysis
Frontiers in Cellular and Infection Microbiology 2020 ; 10 : 773
 - ②網羅的な細菌叢解析による歯周炎とインプラント周囲炎の菌叢構造比較
(2019 年度春季学術大会発表)
- 小道 俊吾 所属：大阪大学大学院歯学研究科口腔分子感染制御学講座（歯科保存学教室）
- ①Protein S100-A7 Derived from Digested Dentin Is a Critical Molecule for Dentin Pulp Regeneration
Cells 2019 ; 8 : 1002
 - ②歯髄創傷治癒過程における Protein S100-A7 の局在解析
(2018 年度春季学術大会発表)
- 砂田（奈良）圭介 所属：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科口腔機能再構築学講座歯髄生物学分野
- ①Anti-inflammatory roles of microRNA 21 in lipopolysaccharide-stimulated human dental pulp cells
Journal of Cellular Physiology 234 : 21331-21341
 - ②Lipopolysaccharide 刺激されたヒト歯髄細胞における microRNA21 発現を介した炎症性メ
ディエーター産生抑制メカニズム
(2018 年度秋季学術大会発表)
- 長谷川大学 所属：九州大学病院歯内治療科
- ①MEST Regulates the Stemness of Human Periodontal Ligament Stem Cells
Stem Cells International 2020 ; Article ID 9672673
 - ②新規幹細胞関連因子 MEST がヒト歯根膜細胞の幹細胞転換に及ぼす影響
(2018 年度春季学術大会発表)

大和 寛明 所属：九州大学大学院歯学府口腔機能修復学講座歯周病学分野

①Combined application of geranylgeranylacetone and amelogenin promotes angiogenesis and wound healing in human periodontal ligament cells

Journal of Cellular Biochemistry (印刷中, 2021年発行予定)

②アメロジェニンおよび胃潰瘍治療薬テプレノンが歯根膜細胞機能に与える影響
(2019年度春季学術大会発表)

※受賞者の所属および職については申請書記載のとおりとした。